

みさと 福祉だより

第38号

平成25年
4月15日

編集発行

社会福祉法人 美郷町社会福祉協議会
☎0187-85-2294 ☎0187-85-2291
印刷・株式会社アイ・クリエイト



会場のみさと福祉センターにはたくさんの来場者が集まりました



「苦と向き合う苦に寄り添う」を演題として講演する講師の新川泰道氏



心の健康づくり、自殺予防講演会に110人

傾聴ボランティア育成事業

3月27日、みさと福祉センターで傾聴ボランティア育成事業・心の健康づくり、自殺予防講演会が行われました。

講師には藤里町の曹洞宗宝昌寺住職である新川泰道氏を迎えました。同氏はこれまでに阪神淡路大震災や東日本大震災の被災地などで支援活動を行ってこれ、現在は住職であるかたわらいのちの問題を考えるボランティアグループ『ビハラー秋田』の代表や『心』のちを考える会『事務局長を務めるなど多方面で活躍されています。

講演会では、被災地でのサロン（行茶活動）が被災者の心を開く効果があったことや、持参した「秋田のいぶりがっこ」が初対面の方との会話のきっかけになったことなど、実体験を踏まえながら、傾聴活動が被災者のストレスの軽減やニーズ（要望）の聴き取りに重要な役割を果たすことを教えていただきました。

傾聴とは？

コミュニケーション技術の一つで、自分の訊きたいことを訊くのではなく、相手が話したいことや伝えたいことを受容的・共感的な態度で真摯に「聴く」行為や技法を指します。それによって相手への理解を深めると同時に、相手も自分自身に対する理解を深め、納得のいく判断や結論に到達できるようサポートすることが目的です。

※この広報は、赤い羽根共同募金の配分金と社協会費が使われています。

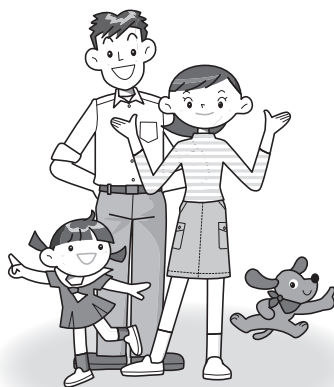
「みんなが築く やさしい未来のまちづくり」

平成25年度の事業計画と予算をお知らせします

一般会計支出予算は**1億9,959万円**

地域の皆さんから直接ご協力いただく会費や寄付金、共同募金に寄せられる善意は地域福祉の向上に使わせていただいています。

財政経営は一般会計、特別会計ともに厳しい状況にありますが、従来にも増して経費節減に努め、健全財政を堅持しながら地域福祉・在宅福祉の向上を目指してさまざまな事業や福祉サービスを展開していきます。



3月22日に行われた理事会で同意を得た美郷町社会福祉協議会平成25年度資金収支予算が、同月26日の評議員会で議決されました。

一般会計予算は3面、特別会計予算は4面に記載しています。

気軽にふれあい 安心のまちづくり

- ◆ 総合相談・まちかど相談
- ◆ ふれあいサロン
- ◆ 単身老人日帰り旅行
- ◆ 出張理容補助券の交付
- ◆ 介護者交流会 など



ふれあいサロンで行われた出前体操
(善元寺会館)



介護者交流会
(千畑温泉サン・アール)



一斉除排雪活動



社会福祉大会

ささえあい共に 生きるまちづくり

- ◆ 一斉除排雪活動
- ◆ 福祉座談会・福祉大会
- ◆ 各学校の福祉活動支援
- ◆ あんしん電話事業
- ◆ 福祉だよりの発行 など

たすけあい手をつなぐ 明るいまちづくり

- ◆ ネットワーク活動の推進
- ◆ 空き店舗「まめだ屋」の運営
- ◆ おたすけマン事業
- ◆ 災害ボランティア活動
- ◆ たすけあい資金貸付 など



空き店舗「まめだ屋」で行われている
パソコン教室



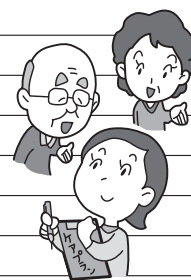
災害時に備えた非常食や
防災用品などの備蓄品

平成25年度 一般会計資金収支予算

		大	中	小	予算額(千円)	説 明
経常活動による収支	収 入	会 費 収 入			6,009	一般会費、特別会費、法人会費、団体会費
		寄 附 金 収 入			202	
		経 常 経 費 補 助 金 収 入			82,622	町補助金（人件費・福祉センター管理費・ボランティア活動費）
		受 託 金 収 入			25,335	在宅介護支援センター、老福センター、高齢者支援事業、生活福祉資金
		事 業 収 入			274	福祉センター使用料、福祉だより広告料、空き店舗収入
		貸 付 事 業 等 収 入			2,500	たすけあい資金償還金
		共 同 募 金 配 分 金 収 入			6,076	秋田県共同募金会より配分（赤い羽根、歳末）
		負 担 金 収 入			2,386	高齢者支援事業利用者負担金（配食サービス、生きがい食事）、研修負担金
		介 護 保 険 収 入			10,470	地域支援事業（紙おむつ支給、ふれあいサロン、配食サービス、介護教室等）
		事 業 外 収 入			1	研修受入れ
		雑 収 入			75	印刷機利用料、電話利用料、その他
		借 入 金 利 息 補 助 金 収 入			1,025	町補助金（みさと福祉センター建設償還利息）
		受 取 利 息 配 当 金 収 入			16	預金利息
		会 計 単 位 間 繰 入 金 収 入			34,372	特別会計（介護事業所、デイ事業）から繰入金
		経 理 区 分 間 繰 入 金 収 入			12,615	一般会計内での資金移動
		経 常 収 入 計 (1)			183,978	
	支 出	人 件 費 支 出			117,170	職員 20 名、臨時職員等 11 名分
		事 務 費 支 出			10,356	事務的費用、福利厚生費
		事 業 費 支 出			32,765	地域福祉活動事業、在宅福祉事業、共同募金事業、受託事業等
		貸 付 事 業 等 支 出			2,500	たすけあい資金貸付金
		共 同 募 金 配 分 金 事 業 費			693	歳末配分
		助 成 金 支 出			2,904	福祉教育推進校、ふれあいサロン助成、出張理容、団体助成等
		負 担 金 支 出			1,269	安心電話県社協管理負担金 170 台分
		借 入 金 利 息 支 出			1,026	みさと福祉センター整備償還利息
		経 理 区 分 間 繰 入 金 支 出			12,615	
		経 常 支 出 計 (2)			181,298	
	経常活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)				2,680	
施設整備等	収	施 設 整 備 等 補 助 金 収 入			0	
		施 設 整 備 等 収 入 計 (4)			0	
	支	固 定 資 産 取 得 支 出 及 び 繰 入 支 出			0	
		施 設 整 備 等 支 出 計 (5)			0	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)				0	
財務活動による収支	収 入	借 入 金 元 金 償 還 補 助 金 収 入			9,365	県・町みさと福祉センター償還金補助金
		積 立 預 金 取 崩 収 入			1,000	センター管理（ボイラー修理）として修繕積立金取崩
		そ の 他 の 収 入			0	
		財 務 収 入 計 (7)			10,365	
	支 出	借 入 金 元 金 償 還 金 支 出			9,365	みさと福祉センター元金償還金
		そ の 他 の 支 出			8,927	退職積立金
		財 務 活 動 支 出 計 (8)			18,292	
	財務活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)				△ 7,927	
予 備 費 (10)					100	
当期資金収支差額合計額 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)					△ 5,347	今年度の残金
前 期 末 支 払 資 金 残 高 (12)					5,347	前年度からの繰越金
当 期 末 支 払 資 金 残 高 (11)+(12)					0	次年度繰越金

平成25年度 美郷町介護事業所事業特別会計資金収支予算

		大	中	小	予算額(千円)	説 明
経常活動	収入	介護保険収入			70,909	ケアプラン作成料、訪問介護、訪問入浴、町受託金(介護予防プラン作成)等
		自立支援費等収入			4,516	障害関係(ヘルパー・計画作成料・認定調査料)
		補助事業収入			2,150	町受託金(身障入浴事業)
		事業外収入			40	実習生受入れ謝礼
		雑収入			5	
		受取利息配当金収入			2	
		経常収入計(1)			77,622	
	支出	人件費支出			36,003	
		事務費支出			653	福利厚生費
		事業費支出			7,935	通信運搬費、研修費、消耗品費、印刷費、車輛費等
		その他の事業活動外支出			3	
		会計単位間繰入金支出			32,028	一般会計へ繰出金
		経常支出計(2)			76,843	
		経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)			779	
施設整備	収	施設整備等収入計(4)			0	
	支	施設整備等支出計(5)			0	
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			0	
財務活動	収	財務収入計(7)			0	
	支	財務活動支出計(8)			0	
		財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)			0	
	予	備	費(10)		0	
		当期資金収支差額合計額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			779	今年度の残金
		前期末支払資金残高(12)			0	前年度からの繰越金
		当期末支払資金残高(11)+(12)			779	次年度繰越金



平成25年度 デイサービス事業特別会計資金収支予算

		大	中	小	予算額(千円)	説 明
経常活動	収	介護保険収入			4,914	通所介護、介護予防通所介護
		経常収入計(1)			4,914	
	支出	人件費支出			969	兼務職員人件費一部
		事務費支出			18	福利厚生費
		事業費支出			1,583	行事協力謝礼、通信運搬費、水道光熱費、浴槽検査料等
		会計単位間繰入金支出			2,344	一般会計へ繰出金
		経常支出計(2)			4,914	
		経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)			0	
施設整備	収	施設整備等収入計(4)			0	
	支	施設整備等支出計(5)			0	
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)			0	
財務活動	財務収入計(7)				0	
	財務活動支出計(8)				0	
	財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				0	
	予	備	費(10)		0	
		当期資金収支差額合計額(11)=(3)+(6)+(9)-(10)			0	今年度の残金
		前期末支払資金残高(12)			0	前年度からの繰越金
		当期末支払資金残高(11)+(12)			0	次年度繰越金



徘徊とは？

認知症の症状の一つです。家を出て途中で自分がどこにいるのか、自分の家がどこなのか分からなくなつて道に迷つてしまつてしまいます。家に帰れずウロウロしている間に体が衰弱してしまつたり、車にひかれそうになつたり、時には命に関わることもあります。

認知症とは？

さまざまな原因によって脳の働きが衰えていき、進行を放置すると徘徊や問題行動が目立つようになります。医療機関などによる適切な治療によって進行を遅らせることはできますが、完治させることはできません。認知症は老化による記憶力の低下などとは異なり、日常生活に支障をきたすおそれのある脳の病気です。

昨年10月に発行した福祉だより第35号では目撃情報の提供をしてくださる協力員の登録をお願いし、たくさんの登録をいただきました。

一方、認知症による徘徊のおそれがある方の利用登録はまだまだ少なく、こちらも随時受け付けています。

在宅で生活するうえで認知症による徘徊が心配な方のご家族など、登録は無料で簡単にできますので、お気軽にご相談ください。

～利用者登録も受付中～

このシステムは、認知症になつても安心して生活できるよう、地域全体で見守りネットワークを構築し、認知症による徘徊のため行方がわからなくなつた方ができるだけ早く家族の元へ安全に帰れるようにするためのものです。

**認知症SOSおたすけネットワークシステム****ありがとう****仙南地区3校から
プルタブと空き缶 471kg**

仙南東小学校、仙南西小学校、金沢小学校の児童らが、家庭で集めたプルタブと空き缶を本会にご寄付してくださいました。

これらを換金し、後三年鴻声の里へ空気清浄機を寄贈するための費用として充当させていただきました。

平成23年から約2年かかって集められたプルタブと空き缶は全部で471kgにもなり、一人一人のあたたかい善意が伝わってきました。



後三年鴻声の里にて

ー町民の方からのご質問についてー**Q 福祉協議会の理事・評議員数等について。**

A 当社会福祉協議会の理事・評議員の定数は、理事15名、評議員33名となっていますが、この定数については、社協合併協議会において地域性等を考慮しながら決定し定款に定めているものです。理事・評議員とも任期は2年で、社協業務が適正に行われるよう随時交代を行っています。

Q 先般報道された職員の不祥事について。

A 役員は、職員不祥事の事態を重く受け止め、町民・関係機関の信用を失墜させたことをお詫びするとともに、地域福祉活動が停滞することのないよう信頼回復のため職員と一丸となって努力し、業務執行に努めていくことを確認しました。

**在宅の寝たきり世帯に
『出張理容補助券』を発行します**

美郷町社会福祉協議会では、寝たきりの方の衛生保持と在宅介護の支援を図るため「出張理容補助券」を発行します。

この事業は美郷理容師会の協力により行われており、美郷理容師会に加盟する理容店で出張理容を利用した際、料金の一部として補助券（1枚3,000円）を利用できるものです。

◎対象者：美郷町在住で在宅の寝たきりの方（障がい児含む）

◎申請場所：みさと福祉センター

◎申請方法：印鑑を持参し、申請書に必要事項を記入

◎発行枚数：1人2枚まで

◎利用できる加盟店：補助券の発行時にお知らせします。

※申請にお越しいただくことが難しい場合は電話などでご相談ください。（☎85-2294）

美郷老連だより⑫ 全国大会表彰に寄せて

美郷町老人クラブ連合会

会長 米沢 利一

新年度に入り、木々の芽もほころびる陽気な今日この頃、会員の皆様にはお元気のことと存じます。

さて、昨年10月4日に東京

日比谷公会堂

において全国

老人クラブ連

合会の50周年

記念大会が行

われ、全国各

地の優秀な個

人・団体が表

彰されました。

秋田県からは

3個人、4団

体が表彰され、

その中の1団

体である仙南

支部代表として私が頂いてま

いました。

大会当日は天皇皇后両陛下のご臨席を賜り、天皇陛下からは次のような内容のおことばをいただきました。「皆さんは戦中の物資不足の中、よ



述をことばでお大会全国老人クラブ大会
べられる天皇陛下（日比谷公会堂）

く耐え、戦後の日本復興のため第一線に立つて尽くされました。日本にとって貴重な立場にある皆様に深く敬意を表します。今後、福祉の充実とともに少しでも長生きをして幸せな老後を送れるよう祈念します。」大拍手の中でこのようなおことばを聞いた私は感銘を受けました。こうしたまとない感激も会員一人ひとりの協力があればこそだと痛切に思いました。

今回の表

彰の理由と

して私なり

に思うには、

前会長の鶴

谷さんの時

代から県の

連合会事業

にはよく協

力してきま

した。平成

20年より私

が交代して

からペタン

ク大会で4回出場中2回のブロック優勝をしています。バレー大会にも昨年より出場しています。芸能の祭典文化祭には連続15回も参加し、県老連主催の老人大学には4年連続で入校を実施しています。

また、平成24年度は若手委員会を結成し、県南の若手およびリーダー研修の開催地として貢献しており、こうした実績が評価されたものと思います。

稀にみるおめでたいこと

として12月1日に雁の里温泉「湯とびあ」で祝賀会を開

催しました。ご来賓として加

藤麻里秋田県議会議員をはじめ、美郷町長、美郷町議会議

長、老連千畑・六郷各支部長

をお招きし、盛会に行うこと

ができました。

さて私ごとですが、平成23

年4月に前会長の照井正次郎

さんから会長の席を引き継ぎ

ましたが、その頃は東日本大

震災の直後であったため、早

速会員の皆様へ義援金協力の

呼びかけをしました。集まつ

た義援金は3支部合わせて

174万円にもなり、県老連

と秋田魁新報社へ送金しまし

た。たくさんのご協力ありが

うございました。

私の任期も総会までとなつ

ており、平成25年度からは後

任として現六郷支部長である

藤原孝史さんをお願いするこ

とになりました。

2年間お世話になり、本当

にありがとうございました。

まめだ屋「第6回パソコン教室」 初級基礎編を開催します

開催日：毎週水曜日

(祝祭日はお休み)

受講時間：13時30分～16時

場 所：まめだ屋

参加費：200円（毎回）

対象者：文字を入力できる程度の方

申込締切：4月24日（水）まで

募集定員：10名（定員になりしだい締め切らせていただきます）

その他：パソコンのある方は持参願います。

ない方は申込み時にお知らせください。開催日は後日連絡します。

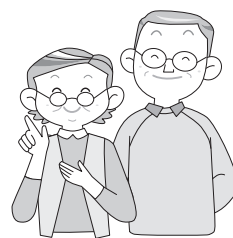


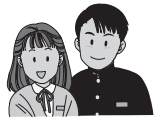
地域住民グループ支援事業

「ふれあいサロン」実施地区受付中

地域の集落会館等を会場に、高齢者の生きがいづくりや孤立感の解消等を目的とした「ふれあいサロン」を行っていませんか？実施地区には助成金として年間2万円を交付しています。昨年度は71箇所の地域の会館で行われました。

新たに始めてみたいという地区や詳しい内容を聞きたい方はお気軽にお問い合わせください。なお、**申込期限は6月末まで**となっているので、お申込みはお早目をお願いします。





六郷高校福祉科通信

花便りが聞かれる季節となりました。学校の桜のつぼみも膨らんでいます。

新学期が始まり、一年生を迎え新しい学校生活がスタートしたところです。

福祉科八期生は、国家試験で過去最高の合格率を上げることができました。私たち先輩たちを指して頑張りたいと思います。よろしく願っています。

福祉科第八期生 介護福祉士国家試験結果

六郷高校合格率 **96.3%**
全国総受験者合格率 **64.4%**
全国福祉系高等学校合格率 **70.6%**

〔福祉科進路状況〕

《福祉関係》

■特別養護老人ホーム

ロートピア緑泉
こもれびの杜
(美郷町)

愛幸園
(大仙市)

さくら
(横手市)

ビハラー横手
(横手市)

鶴寿苑
(横手市)

■介護老人保健施設

杏授苑
(美郷町)

りんごの里 福寿園
(横手市)

やすらぎの苑
(横手市)

■グループホーム

ゆう愛
(美郷町)

大曲仙北介護支援事業所
(大仙市)

■病院

初富保険病院
(千葉県)

厚木佐藤病院
(神奈川県)

所沢第一病院
(埼玉県)

秀峰会
(埼玉県)

■有料老人ホーム

ジョイライフ
(東京都)

■ショートステイ・デイサービス

虹の街
(大仙市)

■障害者施設

サンワーク六郷
(美郷町)

茶の花福祉会
(埼玉県)

■地域密着型特定施設

凛々会
(美郷町)

《一般企業》

サービス業(横手市・千葉県)

《進学》

仙台保健福祉専門学校(宮城県)

秋田県調理師専門学校(秋田市)

〔福祉科年間行事予定〕

4月 福祉科三年生分散実習Ⅰ (展開実習)

5月 福祉科九期生宣誓式

6月 第一回施設実習連絡会議

7月 福祉科三年生分散実習Ⅱ (応用実習)

8月 各施設夏祭り参加

9月 福祉科三年生集中実習

10月 福祉科二年生集中実習

11月 福祉科二年生集中実習

12月 福祉科三年生分散実習Ⅱ

1月 福祉科三年生分散実習Ⅱ

2月 福祉科三年生分散実習Ⅱ

3月 福祉科三年生実習終了

10月 福祉科二年生分散実習Ⅰ (基礎・展開)

六郷高校文化祭「笹竹祭」
産業フェア(大仙市)

12月 福祉科二年生分散実習Ⅰ終了

1月 介護福祉士国家試験

2月 第二回施設実習連絡会議

3月 卒業式

◆介護福祉士国家試験発表
◆施設介護体験会場(予定)

〔福祉科へ進むにあたって〕

福祉に興味を持ち始めたのは中学校でのボランティア活動で一人暮らしのお年寄りのご自宅を訪問したことがきっかけです。最初は何もできなかったのですが、おばあさんが私を優しく声をかけてくれました。本当は、私がお手伝いをしなければいけないのに、いろいろと教えてもらいました。帰るときに「また来てね。うれしかった」と言ってくれたのですが、寂しそうな顔が心に残りずっと離れませんでした。この体験を通して将来、「福祉」に携わる仕事に就きたいと思うようになりました。そして、ボランティアでお世話になったおばあさんのためにもこの地域で貢献していくことが私の目標となりました。しかし、福祉科目は難しい専門的な内容が多く、課題提出のため、家での勉強も欠かせません。この三月卒業した先輩たちも同じように必死に勉強していました。高い合格率は日々の勉強の積み重ねがあつてこそ確信しました。私も、優しさに満ちた信頼される介護福祉士を目指して頑張っていきたいと思います。

(福祉科二年 大川千尋)

グループホーム
やすらぎの家
認知症なんでも相談所
AED
介護付有料老人ホーム
そよかせ
TEL.0187-84-1750
美郷町畑屋字狐塚213-1
(有)若竹 TEL.0187-84-2887

もとめる 3 道 きわめる
求道 究道
新会員募集中
連絡先 千矢弓道会
高橋 0187-85-2120



みさと福祉センターの職員を紹介します

平成25年4月1日付けの人事異動に伴い、職員配置が次のとおりとなりました。

美郷町社会福祉協議会

事務局 長 渋谷 真弓

総務課

課 長 板谷 智子

総務班

班主 長 佐藤 繁
主 任 傅野 寛
任 村田 剛

福祉課

課 長 木村 節男

地域福祉班

班主 長 高橋 文広
主 任 小原 真智子
主 任 高橋 真由美
主 任 竹村 裕美子
主 任 播摩 俊
事務補助員 小松 ひとみ
事務補助員 田口 朋子

在宅介護支援センター

主 任 竹村 裕美子(兼務)

在宅福祉班

班長(管理者) 高橋 由美子(千畑デイ)
主 任 藤澤 永一(六郷デイ)
主 任 盛岡 博美(配食)
生活相談員 大田 文広(千畑デイ)
介護職員 進藤 文広(千畑デイ)
援助員 栗澤 博子(六郷デイ)
指導員 大田 誠次(仙南デイ)
援助員 中田 京子(仙南デイ)
援助員 池田 裕美子(仙南デイ)
栄養士 田口 人美(配食)
調理員 高橋 真由美(配食)
調理員 西鳥 羽洋子(配食)

美郷町介護事業所

所 長 加賀谷 陽子

居宅介護支援班

班長(管理者) 小西 蓉子
介護支援専門員 齊藤 彰(兼務)
上席主任(介護支援専門員) 高橋 和幸
介護支援専門員 加藤 まさ子(兼務)
介護支援専門員 渋谷 好美
介護支援専門員 草薙 満穂子
介護支援専門員 戸沢 利津子

訪問介護班

班長(管理者) 佐藤 幸
サービス提供責任者 東海 林光子
サービス提供責任者 加藤 一美
訪問介護員 福田 弘美(兼務)
訪問介護員 橋本 教子(兼務)
訪問介護員 照井 蝶子
訪問介護員 佐藤 とよ子

訪問介護員 森川 登与子
訪問介護員 高橋 カヅ子
訪問介護員 後藤 テイ子
訪問介護員 菊地 千恵子
訪問介護員 高階 典子

訪問入浴介護班

班長(管理者) 齊藤 彰(兼務)
看護職員 加藤 まさ子(兼務)
看護職員 山形 絹子
介護職員 村田 貴英子
介護職員 高橋 幸子

相談支援事業

管理者 小原 昭市(兼務)
相談支援専門員 福田 弘美(兼務)
相談支援専門員 橋本 教子(兼務)

介護事務

主 任 小原 昭市(兼務)



平成25年2月1日
3月31日受付分

※受付順

香典返し

本道町 岩田 隆則様
湯竹 田口 和春様
黒沢 高階 幸男様
千屋南部 高橋 治様
駅前 黒澤 千登勢様
千屋北部 前田 ミツ子様
上中野町 梅川 等様
本道町 高橋 ミエ様
大坂 後藤 幸輝様
南町 高橋 満様
下畑屋 高橋 敏己様
本館 大久保 輝夫様
東高方町 木村 一男様

一般寄付

うたとおどりの美郷フェス
ティバル実行委員会様
美郷中学校様

物品寄付

佐野 キツカワ宅配 サービス様
大畑 高橋 トシ子様
(乳製品・飲料)
(紙オムツ)

※この他、匿名でのご寄付
もいただいています。

以上の方々より当協議会に善意の金品をいただきました。
ご厚意に対し、心からお礼申し上げます。



美郷中学校からは集めたアルミ缶の換金分と
学校祭の収益金をご寄付いただきました

ハガキの作成を 無料で承ります

美郷町社会福祉協議会では、香典返し等のご寄付をいただいた場合、忌明け・快気祝いハガキの作成を無料で承ります。文面や枚数についてご希望に応じますので、必要な方はお申し付けください。

編集後記

次号から福祉だより担当者が代わることにになり、私が手掛けるのは今号で最後となりました。
第21号から第38号までの3年間広報にたずさわった社協職員でありながら福祉についてまだまだ自分から知らない部分が多い自分にとって良い勉強になりました。読んでくださった方々、どうもありがとうございました。
H・D

みさと福祉センター

〒019-1541

秋田県仙北郡美郷町土崎字上野乙6番地1



社会福祉法人

美郷町社会福祉協議会

TEL0187(85)2294(代) FAX0187(85)2291
misato-fukushi@ceres.ocn.ne.jp

美郷町介護事業所

TEL0187(87)6128(代) FAX0187(87)6680
misato-kaigo@ceres.ocn.ne.jp